

太古の世界にいざなう化石達

畳ヶ浦の砂岩層で見られる貝化石は45種以上ありますが、その大部分が南方系のものです。およそ1600万年前には暖流の影響が強く、常夏のような気候(熱帯・亜熱帯気候)だったと考えられます。



ノムラカガミ



シラトリアサリ



ワタナベサルボウ



カドノサワキリガイダマシ



ノムラミガイ

いろんな化石が
たくさん見られるよ!



せりり 節理と断層

千畳敷には縦横に走る無数の亀裂があり、これを節理といいます。節理は、大地が動くことによって生じた亀裂と考えられています。千畳敷では、幾つかの断層もみられますので、これらの活動と関連して節理が生じたものと考えられます。

節理



断層



環境省選定

かおり100選 磯のかおり

千畳敷面には多数の潮溜りがあり、多くの海辺の生き物たちを観察することができます。

また、起伏に富んだ海岸線や水平線に沈む夕日の景色、そして、四季折々の日本海の姿も絶景です。



出典:環境省ホームページより

畳ヶ浦の成り立ち

畳ヶ浦は、2400万年前から1500万年前に起こった日本海の形成と深く関わりながらできました。1600万年前にたい積した畳ヶ浦の地層を見ると、礫岩層の下の砂岩層からは、海水と淡水が混じった沼地に生息する貝や植物の化石が見つかり、礫岩層は、大きな河川の洪水で押し流されてきた土石が、河口にたい積したものです。千畳敷を形成する砂岩層は、本来、礫岩層の上にたい



▲1600万年前の中国地方

積するもので、海底に生息する多種類の貝や、クジラなどの化石が見られます。これを古い順に当時の環境を考えると、畳ヶ浦は、陸地から海底へと変化しており、日本海が拡大する様子を知ることができます。



▲1600万年前の浜田周辺



畳ヶ浦は古くから石見の代表的な名所として和歌にもよまれてきました。

海に突出した標高約50mの丘陵の先端に位置する畳ヶ浦には、波によって浸食され、約25㎡の海食崖と呼ばれる切り立った崖と、約49,000㎡に及ぶ波食棚という平らな磯が広がっています。

この広大な波食棚には縦横に規則正しく走る小さな亀裂が見られ、これが畳を敷きつめたように見えることから、「千畳敷」または「床ノ浦」と呼ばれるようになりました。



畳ヶ浦には無数の貝の化石やクジラの化石などを見ることができ、約1600万年前の海の浅瀬の世界に思いをはせることができます。さらに波の浸食によってできた腰掛け状の丸い岩(ノジュール)をはじめ、多くの断層や海食洞を見ることができ、まさに「天然の博物館」といえます。

江戸時代の畳ヶ浦



浜田市観光ボランティアガイドの会

案内日 日曜日、祝日
(12月~2月、7月、8月は除く)

受付場所 石見畳ヶ浦入口
ボランティアガイドハウス前

料金 無料

予約 浜田市全域でのガイドが可能です。
予約は7日前までお願いします。

連絡申込先 一般社団法人 浜田市観光協会

TEL(0855)24-1085 FAX(0855)24-1081

美しい海岸線をガイドと歩いてみませんか?

トンネルを抜けると白波の打ち寄せる広い、広~い海食の台地。太古の昔に想いをはせながら、化石、奇岩を探しませんか? 私達ガイドがご案内いたします。

